考古学特殊講義1B－Ⅱ

科目ナンバリング　ARC-202
選択必修　　2単位

阿部　朝衛

1. 授業の概要（ねらい）

考古学の基本的な資料分析方法の「型式」について本年度講義する。多様な考古学資料には、土器・石器・金属器などの遺物、住居・墓などの遺構が含まれ、それらを時空間上に配列する上で型式はとても重要である。その役割と設定方法を理解することを講義の目的とする。前期では型式がどのように認識され形成されてきたかを講義し、後期では型式がどのように用いられているかを講義する。

2. 授業の到達目標

1.具体的資料の分析事例をもとに、型式の利用方法を理解する。
2.型式成立の理論的背景を理解する。
3.現代社会においての活用法も理解する。

3. 成績評価の方法および基準

最後の授業のテストによって評価する。出席するのは当然である。

4. 教科書・参考文献

教科書
特になし。
参考文献
授業時に適宜、紹介する。資料は、適宜、プリントして配付する。

5. 準備学修の内容

1年の考古学概説で学んだ人類進化、旧石器文化、新石器文化（縄文文化）の変化を復習する。博物館見学を行い、資料がどのように配列されているか観察する。

6. その他履修上の注意事項

文化遺物の説明では、重量物は運搬できないので、考古学実習室に移動する場合がある。

7. 授業内容

【第1回】　導入、前期授業との関連性
【第2回】　チャイルド型式学の意味するもの（1）
【第3回】　チャイルド型式学の意味するもの（2）
【第4回】　デュルケームの集合表象と型式（1）
【第5回】　デュルケームの集合表象と型式（2）
【第6回】　デュルケームの集合表象と型式（3）
　　オンライン授業
【第7回】　ホッダー型式研究の意味するもの（1）
【第8回】　ホッダー型式研究の意味するもの（2）
【第9回】　型式と集合表象・社会集団（1）
【第10回】　型式と集合表象・社会集団（2）
【第11回】　社会集団における学習・教育（原人）
【第12回】　社会集団における学習・教育（旧人）
【第13回】　社会集団における学習・教育（新人1）
【第14回】　社会集団における学習・教育（新人2）
【第15回】　総括、テスト